

夢描く場所

千葉市立高等特別支援学校

学校だより 第3号

令和5年6月16日

安全安心のもと、力を身に付けられるように!

6月2日金曜日は、台風2号の影響による暴風豪雨により各地で大きな被害がニュースでも報じられました。学校でも天気予報を確認し、夜7時過ぎの荒天を想定しておりましたが、かなり早まり生徒下校直後には、土砂降りの雨に強い風で京葉線が運転見合わせとなり、家に帰れない生徒がでるという事態となってしまいました。「すぐー」での連絡や生徒の安否確認が遅くなってしまったこととお詫び申し上げますとともに、道路も大渋滞の中、生徒の送迎等にご対応いただきました保護者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。年度初めに発出している、地震や各種警報時の対応について、以外でも起こりうる今回のような状況下での生徒への指導、学校での対応、ご家庭への協力依頼等について、別途資料を配布しますのでご確認をお願いいたします。



先日読んだ記事を紹介させていただきます。京都へ修学旅行に来ていた中学生5人と神社の宮司さんのやりとりです。観光名所になっているような神社ではなかったため、修学旅行生がグループ活動で来てくれたことをうれしく思った宮司さんが、丁寧に案内しようとしていた矢先、次の集合は京都駅に16時30分ということが判明。その時の時刻は16時。京都駅まではバスで1時間かかる場所だったため、奥様と2人でバス停まで大急ぎで送ったとのことでした。バス停までの車内で、その日は京都に宿泊とのかを生徒から聞いていたので、新幹線に乗り遅れることはないのがせめてもの救いと感じていましたが、「ちゃんと駅に着いたかな?」「先生方に怒られているのでは?」と心配し、事の成り行きを含め「先生方叱らないであげて!」とツイッターに投稿していました。後日、班の代表の生徒から修学旅行の楽しかった思い出や親切にもらったことへの感謝などお礼の手紙が届き、生徒の保護者からも「歴代1位の遅刻だったけど先生に怒られることはなかったようです。」とDMが届いたそうです。また、当日の行動については、事前に班行動の計画書を学校に提出していたこと、その際時間的に厳しいのではと先生から指摘を受けつつも、とにかく計画通りに行動してみなさいと了承を得ていたこと、集合時間に遅れそうになった場合は先生と連絡を取り合うことを約束していたこと、などが細かく書かれていたそうです。宮司さんはその報告を受け、よかったと胸をなでおろすとともに、子供の計画を頭ごなしに否定するのではなく、自主性を重んじている学校の姿勢にも感心しました。と綴り、ツイッター上でほっこりした話として話題になっているというものでした。

想定外のことが起こった時にどう行動するか、その時の状況に応じて自分で「考えて、決めて、やってみる」しかないと思います。一人では不安なことも友達と話をしたり教師に相談をしたり保護者に確認をしたりして、考えをまとめて決めることができるようになると思います。そのためには、安全であることを大前提として、判断する上での材料の提供や基準を確認し普段から練習していくことが大切だと考えます。「考えて、決めて、やってみる」ことが自信をもってスムーズに行えるように、生徒、学校、家庭がより一層しっかりと連携をとれるようにしていきたいと思います。困難な状況に対応できる力を身につけられるよう、積極的に取り組んで行っていきたいと考えています。ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

校長 三宅 健二郎